



別海町立中春別中学校



学校だより

令和5年8月31日 発行 校長 葛迫 勝秋

教育目標：【中春っ子 未来を拓こう みんなの笑顔】

～自らの未来に向かって、目標を高く持ち、仲間と協調しながら前向きに挑戦する子どもを育てる～

88 日間の 2 学期がスタートしました

校長 葛迫 勝秋

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。引き続き 2 学期もどうぞよろしくお願いいたします。

17 日始業式のあいさつより…

みなさんおはようございます。今日はどうして大きな事故やけがなく皆さんが元気に登校することができたことを大変嬉しく思います。そして全道中体連に出場した 3 名の皆さん、本当にお疲れさまでした。後ほど皆さんからの報告がありますが、顧問の先生から大変活躍されたと聞いています。今回の貴重な経験を今後の活動にぜひ生かしてほしいと思います。

さて、26 日間の夏休みでしたが、充実した日々を送ることができたでしょうか？また、終業式のときに校長先生からのお願いとして、お手伝いにつとめてください、お家の人がみなさんの行動によって助かることを 1 つ継続してくださいということを伝えましたが、実行することはできたでしょうか。実行できた人はきっとお家の人からこのような言葉をかけられたと思います。その言葉は「ありがとう」や「助かるよ」という言葉です。一日一善という言葉聞いたことがあるでしょうか？この言葉は「1 日に 1 つは、誰かのための良いことをしましょう」という意味です。今日からはじまる 88 日間の 2 学期ですが、皆さんで一日一善を少し意識しながら、日々「ありがとう」「助かるよ」という言葉が響きわたる校内であってほしいなあと思っています。

さあ、2 学期は「文化祭」、2 年生は宿泊学習や職業体験、1、2 年生の新体制による部活動、3 年生は進路にむけた取組など多くの活動が目白押しとなっています。どれもたやすく安易に終わられるものではありません。だからこそ 1 学期同様、自分一人で悩まず苦しまず、先生や仲間とともに一つ一つ、1 日 1 日を協力しながら、楽しく、笑顔で乗り越え、皆さんの成長へとつなげていきましょう。最後に、2 学期にむけて、皆さんに新しい言葉を贈ります。

「努力は足し算 協力は掛け算」 私達教職員も含め、皆さんの生活の全ての場面に関わる言葉です。言葉の意味は、このあと学級に戻ったあとに皆さんでぜひ考えてみてください。終わります。

上記の言葉ですがシンプルでとても意味深い言葉だなと感じています。捉え方はそれぞれです。意味の解釈は子どもたちの感性に委ねたいと思います。ご家庭でも、この言葉の意味するところを話題にしていただけただら幸いです。

19 日の盆踊りでは楽しそうにしている子どもたちを知人の出店のお手伝いをしながら見ることができ、とても微笑ましかったです。地域や保護者の皆さんとも少しの時間ですが色々とお話をさせていただくことができました。来月には地域の神社祭が開催されます。ぜひ、また多くの子どもたちが地域行事に参加して地域の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごしてもらえたらと思います。